

講座 ジャンル	伝承折紙	教員名	おおつか ゆらみ 大塚 由良美
------------	------	-----	--------------------

**桑名の千羽鶴（連鶴）
（桑名市無形文化財）**

「桑名の千羽鶴」は江戸時代中頃、桑名の僧侶によって考案された、一枚の紙から連続した鶴を折るもので、桑名市の無形文化財に指定されています。

デザイン的にも素晴らしく、日本の伝統文化を伝えるものとして海外でも好評です。一度体験してみてください。



千羽鶴とは一羽の鶴を1000羽繋いだものと言いますが、この千羽鶴はひと味違います。一枚の紙に切り込みを入れるだけで数羽の繋がった鶴を折ります。

この連鶴は、寛政9年（1797）桑名の僧侶魯縞庵義道が考案したもので、桑名市の文化財に指定されています。一羽が折ることができれば誰にでも折れますので、挑戦して下さい。

